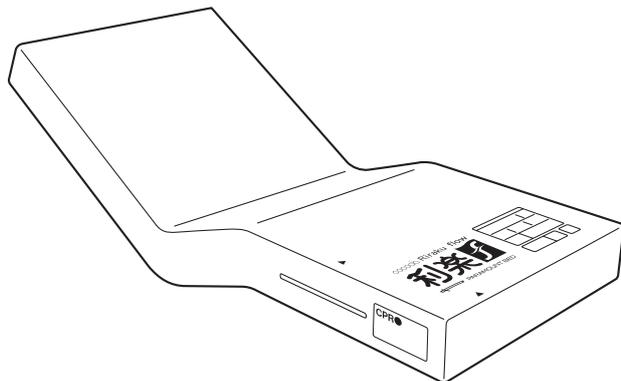


エアマットレス こちあ利楽flowシリーズ

清拭タイプ・通気タイプ



もくじ

- 1**安全に関する注意事項…………… 1
- 2**各部の名称…………… 3
- 3**設置方法…………… 4
- 4**機能と使用方法…………… 8
- 5**お手入れと点検…………… 12
- 6**故障かな?と思ったら…………… 15
- 7**長期保管・輸送・廃棄…………… 17
- 8**仕様…………… 18
- 9**適合品…………… 18
- 10**アフターサービス……………裏表紙

まえがき

このたびは、エアマットレス こちあ利楽flowシリーズ（以下、本製品）をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- 本製品をお使いになる前に、必ず取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全な取扱方法を理解してください。また、付き添いの方や介護する方も取扱説明書をよくお読みください。
- 取扱説明書はいつでも見られる場所に保管してください。
- お買い上げの製品は改良などにより、取扱説明書の内容と一部異なる場合があります。
- 動作範囲・寸法・角度・質量などの数値の記載がある場合、その数値には多少の誤差が含まれます。特別なものを除き、取扱説明書では、表示を見やすくするため、約・およそといった言葉を省略しております。
- ご不明な点がありましたら、お買い上げの販売店または直接弊社までお問い合わせください。
- 本製品は日本国内専用です。海外では電源電圧が異なるため使用できません。

使用目的

こちあ利楽flowシリーズはポンプ内蔵型のエアマットレスであり、医療施設・高齢者施設やご家庭で療養される際に、身体にかかる圧力を分散させることを目的に作られています。

※床ずれ予防は専門家にご相談ください。本製品だけでは床ずれは予防できません。全身的な管理（栄養状態の管理、基礎疾患の管理など）が必要です。床ずれ予防を行うにあたっては医師、看護師、介護相談員などの専門家にご相談ください。

※本製品は、総合的な床ずれケアのためのひとつの道具で、体位変換を不要にするものではありません。本製品の使用と並行して、体位変換などのケアを行ってください。

取扱説明書に示した注意事項は製品を安全にお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度に応じて「警告」と「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

 警告 <small>けい 告</small>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、死亡または重傷（骨折・圧迫・麻痺など）を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意 <small>ちゅう い</small>	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷（打撲・すり傷・切り傷など）を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

1 安全に関する注意事項



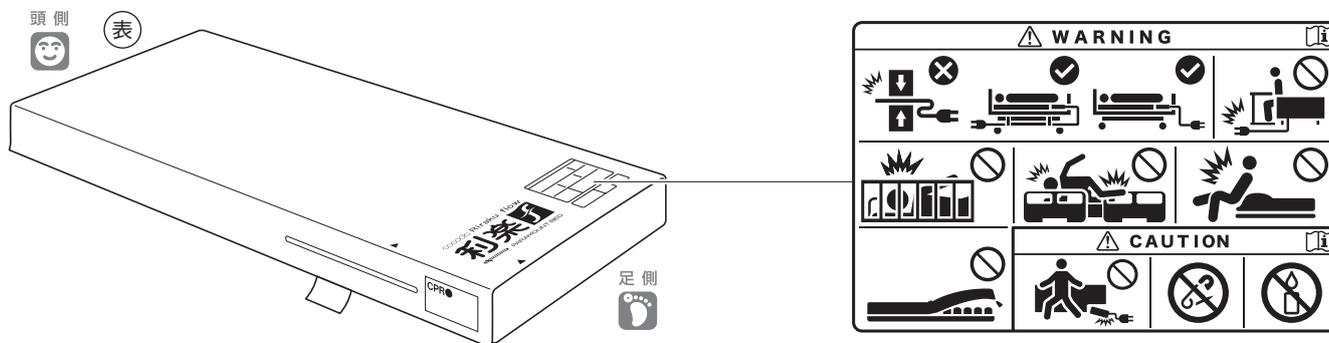
- チューブ（ドレーン）などが本製品とベッドやベッドサイドレールなどとのすき間にはさまれないように注意してください。
抜けたり、つぶれたりするおそれがあります。
- 身体の一部が本製品とベッドやベッドサイドレールなどとのすき間に入った状態で操作パネルを操作しないでください。
すき間にはさまれて、けがをするおそれがあります。
- 組合せて使用するベッドなどは弊社が指定する適合品をご使用ください（18ページ参照）。
意図せぬすき間の発生や製品同士の接触、安定性の低下などによりけがをしたり、本製品が破損したりするおそれがあります。
- 乳幼児やお子様には使用しないでください。
本製品とベッドサイドレールなどのすき間に身体の一部がはさまれてけがをしたり、圧迫されて窒息したりするおそれがあります。
- ベッドの幅・長さにあわせたものをご使用ください。
意図せぬすき間が発生し、はさまれてけがをするおそれがあります。
- 人が乗った状態での移動はしないでください。
人が転落してけがをしたり、破損するおそれがあります。
- 本製品の上で立ちあがったり、飛び跳ねたりしないでください。
転落・転倒してけがをしたり、本製品が破損したりするおそれがあります。
- 使用する方の容体にあわせて使用してください。
使用する方の容体によっては、本製品の操作で容体を悪化させるおそれがあります。
- 利用者体重（20～180kg）の範囲外の方に使用しないでください。
効果的に体圧を分散できません。
- 複数の方が同時に本製品に乗らないでください。
効果的に体圧を分散できず床ずれが発生したり、破損したりするおそれがあります。
- 長時間うつぶせ寝をしないでください。
窒息するおそれがあります。
- ポンプ本体およびケーブル接続部に強い衝撃を加えたり、腰・膝などで人の荷重をかけたりしないでください。
ポンプ本体が破損・変形し、感電・火災のおそれがあります。
- マットレス本体とポンプ本体の接続部分に強い衝撃を加えたり、膝・腰などで人の荷重をかけたりしないでください。
カプリングが外れて空気が抜け、効果的な体圧分散ができなくなるおそれがあります。
- コード類（電源コードなど）・電源プラグをベッドの可動部ではさんだり、ベッドで踏みつけたり、無理な力を加えたり、重いものを載せないでください。
破損し、感電・火災のおそれがあります。傷んだコード類は修理（交換）を依頼してください。
- 電源プラグを濡れた手で抜き差ししないでください。
感電したり、故障したりするおそれがあります。
- 電源プラグにほこりを付着させないでください。
感電・火災のおそれがあります。電源プラグの表面にほこりが付着している場合、乾いた布などでよく拭き取ってください。
- 電源プラグに無理な力を加えないでください。また抜く際は、電源プラグを持って抜いてください。
電源プラグが破損したり、コードが傷んで感電・火災のおそれがあります。
- 電源は直接コンセントからとってください（ACアダプターを使用する場合のみ）。
延長コードの容量を超える電気製品を同時に接続して使用すると、電源コードや電源プラグが発熱して火災のおそれがあります。
- ポンプ本体をゆかに落としたり、壁などにぶつけたりしないでください。
破損し、感電・火災の原因となります。
- 操作が理解できないと思われる方（12歳以下のお子様や認知症の方など）に操作させないでください。
すき間に身体がはさまれてけがをしたり、効果的に体圧を分散できず床ずれが発生したりするおそれがあります。
- 心臓マッサージなどの緊急対応が必要なときは、CPR機能を使用してください（11ページ参照）。
迅速な処置ができなくなり、症状が悪化するおそれがあります。
- 壁などに立てかけないでください。
倒れて破損し、感電・火災のおそれがあります。
- MRIなどの強い電磁波環境に置かないでください。
誤動作や故障の原因となります。
- 本製品の上でタバコを吸ったりしないでください。
火災などの原因となります。
- 側地や詰め物が汚れたり破損したりした状態では使用しないでください。
汚物や血液などの汚れが本製品の内部に染み込み、感染症を引き起こす原因となる場合があります。本製品のお手入れは12ページを参照してください。
- 水などをこぼさないでください。
電装品がショートして感電や故障の原因となります。
- 携帯電話などをポンプ本体の近く（30cm以内）で使用しないでください。
本製品が誤動作するおそれがあります。
- 電気掛毛布などの電気製品を使用する場合は、温度を40℃以下にしてください。
ポンプ本体が発熱し、火災や故障のおそれがあります。電気製品の取扱説明書などで、安全な使用方法をご確認のうえご使用ください。
- 電子治療器を同時に使用するときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
故障や誤動作の原因となります。
- お客様による修理・改造はしないでください。
思わぬけがや破損の原因となります。
- 本製品が被災した場合は点検・修理を依頼してください（裏表紙参照）。
電装品のショートや漏電による感電・火災や本製品の破損・変形による動作の異常によって、けがをするおそれがあります。

⚠️ 注意

- マットレス本体を落とさないでください。
カプリングが破損するおそれがあります。
- ものを載せた状態で動作させないでください。
ものが落下し、破損するおそれがあります。
- 氷まくらや保冷剤などの冷却作用のあるものは直接載せないでください。
結露により劣化するおそれがあります。
- お手入れ以外でセンサーカバー取付用ファスナーを開けないでください。
故障の原因となります。
- スプレータイプの殺虫剤を直接噴射しないでください。
変色したり、破損・溶解して思わぬけがをするおそれがあります。
- 空気を入れた状態で無理に折り曲げないでください。
破損・変形するおそれがあります。
- ポンプ本体とエアセルのすき間に足の指などはさまないように注意してください。
けがをするおそれがあります。

■ 警告印字について

側地（トップカバー）にある警告印字のシンボルマークは、取扱説明書を参照していただくことを表しています。その他のシンボルマークは下記の内容を表しています。

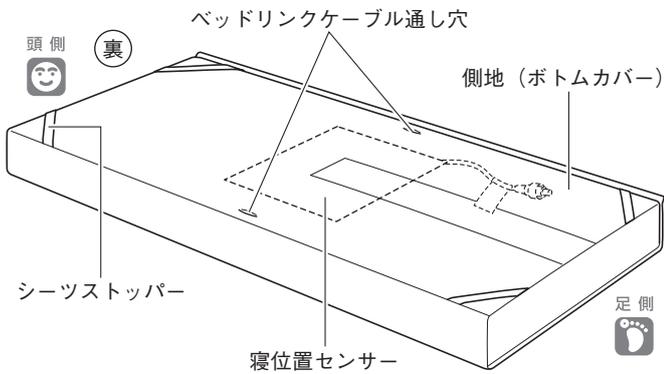
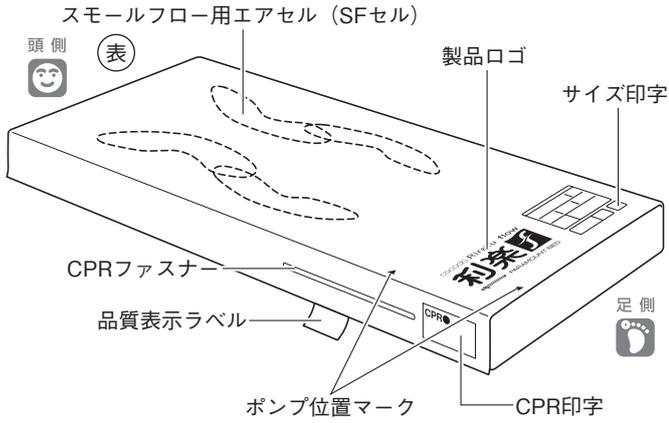


シンボル	内容
 警告	 <p>電源コードのはさみ込みに注意してください。電源コードが破損し、感電・火災のおそれがあります。</p>
	 <p>電源コードはベッド（エアマットレス）への乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。電源コードに足を引っ掛けて転倒したり、電源コードの外れ・破損などにより感電・火災のおそれがあります。</p>
	 <p>身体のはさまれに注意してください。ベッドサイドレールやベッド用グリップなどの製品やベッドと、本製品とのすき間に身体をはさまれると、けがをしたり、圧迫により窒息したりするおそれがあります。また本製品は、沈み込みやすいので十分注意してください。</p>
	 <p>本製品を使用する際はベッドサイドレールを併用し、ベッドサイドレール使用時もベッドからの転落に十分注意してください。ベッドサイドレールを乗り越えて転落し、けがをするおそれがあります。</p>
	 <p>乗り降りしたり、端座位をとったりする際には転落・転倒に注意してください。『しっかりモード』（11ページ参照）でエアマットレス全体を硬くしてから、介護する方や付き添いの方などが身体を支えてあげるかベッド用グリップなどを持たせて滑り落ちないようにしてください。</p>
	 <p>側地（トップカバー）のファスナーやポンプカバーが開いた状態で使用しないでください。本製品の内部に水分などが浸入し、ショートして感電したり、故障したりする原因となります。</p>
 注意	 <p>エアマットレスを移動する際は、ポンプ本体を取外してください。ポンプ本体が落下して、ポンプ本体が破損・変形するおそれがあります。</p>
	 <p>エアマットレスの表面（ひょうめん）に針など鋭利なものを接触させたり、衣服のポケットに鋭利なものを入れた状態で使用したりしないでください。内部のエアセルが破損するおそれがあります。</p>
	 <p>火気または温度の高いものを近づけないでください。変質・変形・発火などの原因となります。</p>

※ 警告印字が傷ついたり、はがれたりした場合は、販売店から新しい側地（トップカバー）を取寄せ、交換してください。

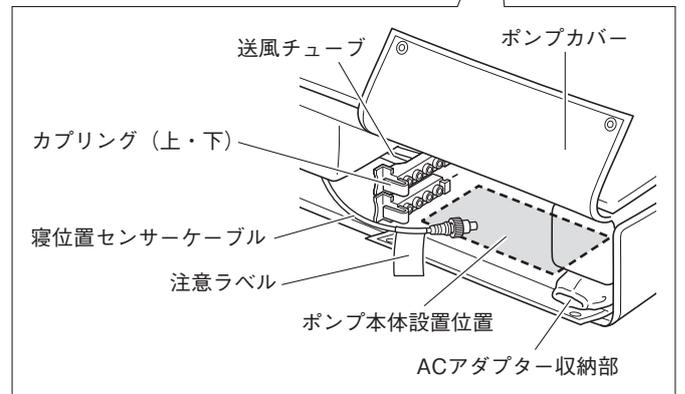
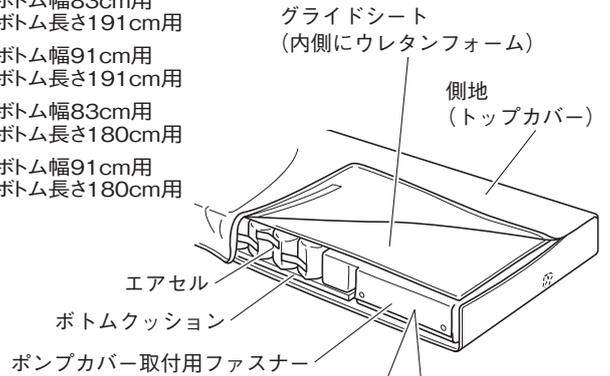
2 各部の名称

マットレス本体

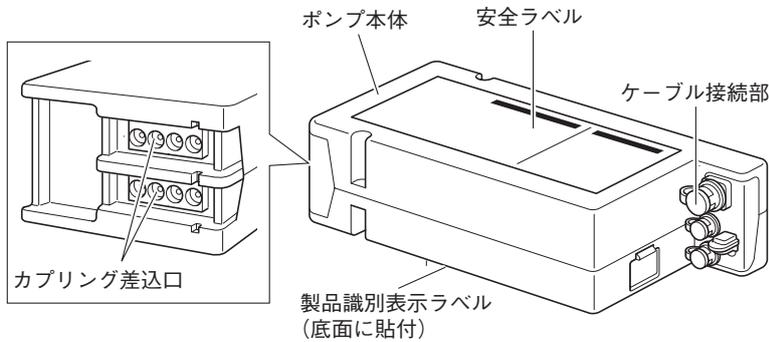


Size marking content:

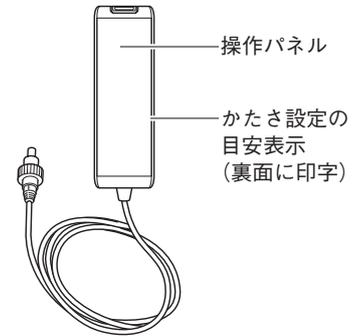
- 83** ... Bottom width 83cm use
 ... Bottom length 191cm use
- 91** ... Bottom width 91cm use
 ... Bottom length 191cm use
- 83 mini** ... Bottom width 83cm use
 ... Bottom length 180cm use
- 91 mini** ... Bottom width 91cm use
 ... Bottom length 180cm use



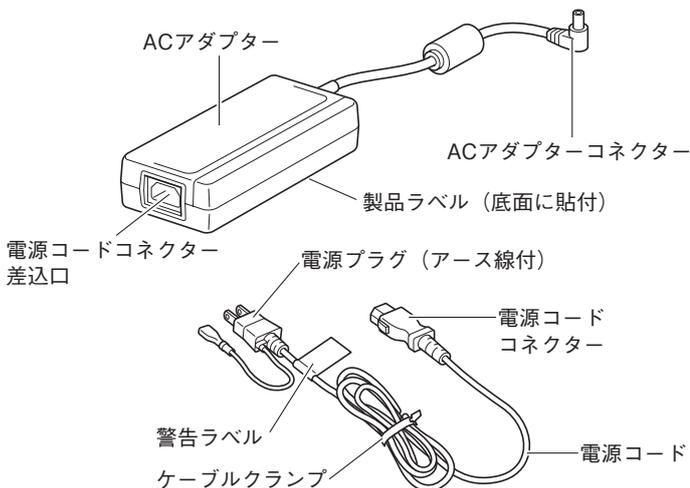
ポンプ本体



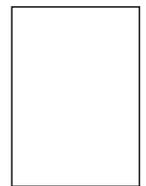
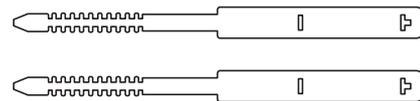
操作パネル



ACアダプター・電源コード

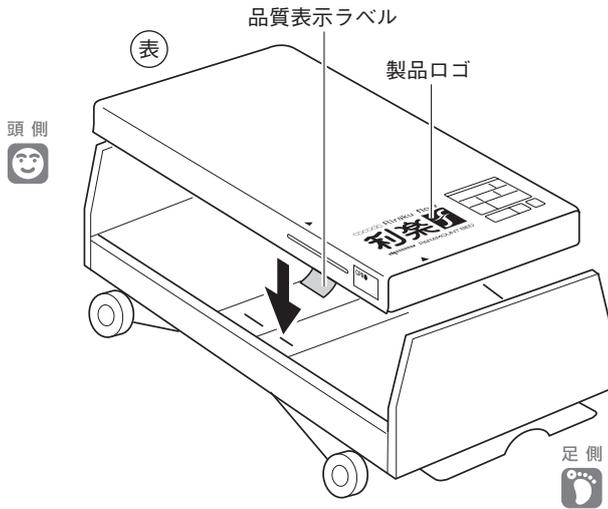


その他付属品



3 設置方法

1. マットレス本体の設置

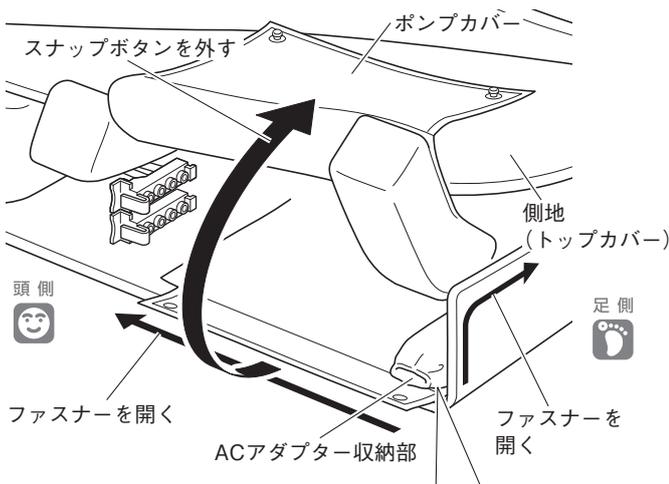


- ① 設置する際は、ベッドのボトムをフラットな状態にして、ベッドのボトム上に障害物がないことを確認してください。
- ② 本製品には表・裏、頭側・足側があります。マットレス本体を設置する際は、必ず製品ロゴがある面を表にし、品質表示ラベルが使用される方の足側に来るように設置してください。

警告

- 表・裏、頭側・足側を正しく設置して使用してください。効果的に体圧を分散できないおそれがあります。
- 本製品はベッド上に直接設置し、本製品の上にはシーツやマットレスパッド以外のものを敷かないでください。効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。また、厚みが増すとベッドサイドレールを乗り越えて転落したり、ベッドサイドレールとのすき間に身体をはさまれたりして、けがをするおそれがあります。
- ベッドからはみ出して滑り落ちないようにしてください。使用する方が転落・転倒するおそれがあります。
- ベッドを搬送する際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。

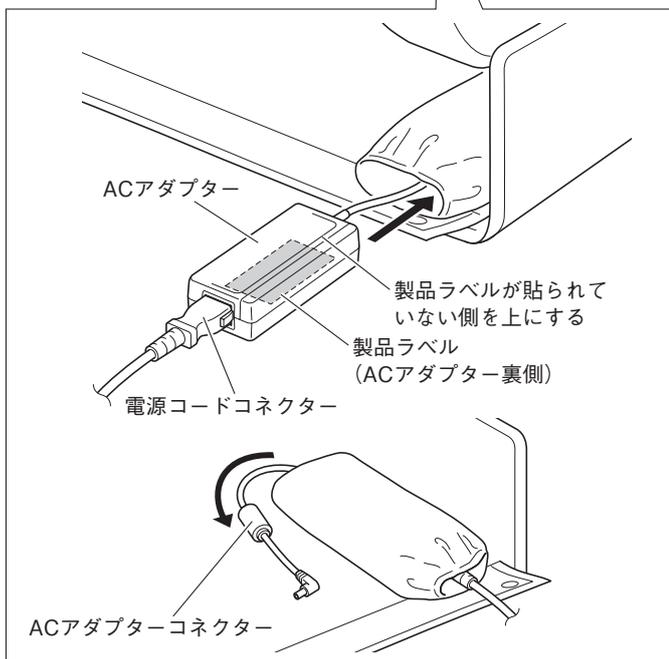
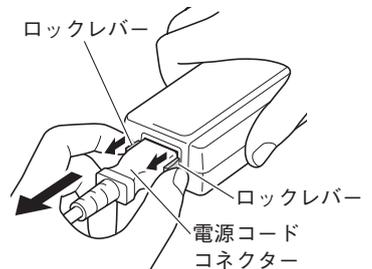
2. ACアダプターの設置



- ① ACアダプターの電源コードコネクタ差込口に電源コードコネクタを奥までしっかりと差込んでください。
- ② 側地（トップカバー）とポンプカバーを開いてください。
- ③ 製品ラベルを下側にして、ACアダプターをACアダプター収納部に電源コードコネクタ差込口が隠れるまで中に入れてください。
- ④ ACアダプター収納部の反対側の口からACアダプターコネクタを取出してください。

警告

電源コードコネクタには抜け防止のロック機構が備わっています。電源コードをACアダプターの電源コードコネクタ差込口から抜く際は、電源コードコネクタ左右のロックレバーを引きながら抜いてください。ロックレバーを引かずに抜こうとすると、電源コードコネクタや電源コードが破損・断線して、感電・火災のおそれがあります。



注意

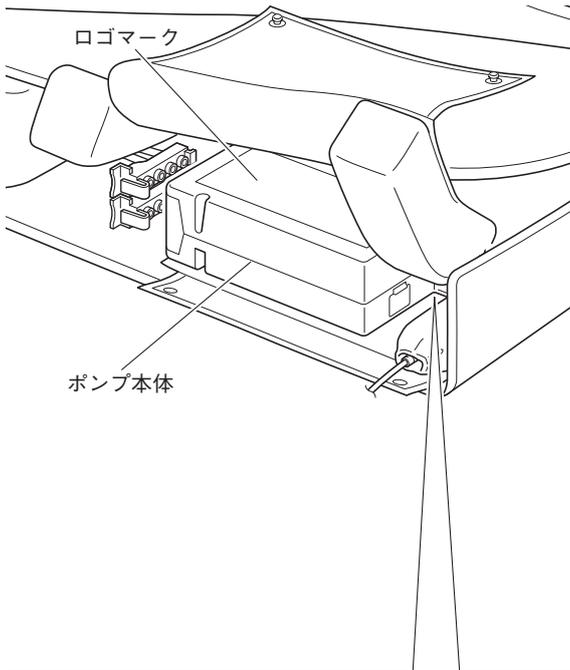
電源プラグは、すべての配線が終了してからコンセントに差込んでください。電源プラグがコンセントに差込まれたまま操作パネルや寝位置センサーの取付け・取外しを行うと、操作パネルや寝位置センサー、ポンプ本体が破損するおそれがあります。

3 設置方法

3. ポンプ本体の設置・ACアダプターと操作パネルの接続



- ポンプ本体は手順に従い正しく設置し、マットレス本体に確実に接続・固定されていることを確認してください。誤った設置や接続・固定が不十分だと効果的に体圧を分散できません。またポンプ本体が落下してけがをしたり、破損・変形によりショートして感電・火災のおそれがあります。
- ポンプ本体を取扱う際は、電源コードや操作パネルのコードを持たずにポンプ本体を両手でしっかり持ってください。断線により感電・火災のおそれがあります。
- ポンプ本体や操作パネル、ベッドリンクケーブル（別売）などの電装品の取扱いに注意し、踏みつける・ぶつける・引っ張る・水をかけるなどの行為はしないでください。本製品が誤動作してけがをしたり、故障の原因となったりします。また、ショートなどにより感電・火災のおそれがあります。



① ロゴマークを上側にしてポンプ本体を設置してください。



- 天地・頭側・足側の向きに注意してください。
- ポンプ本体設置位置内に正しく設置してください。振動音が生じる可能性があります。

② 寝位置センサーを接続してください。（手順①～③）

③ 操作パネルを接続してください。（手順④～⑥）

④ ACアダプターを接続してください。（手順⑦～⑨）

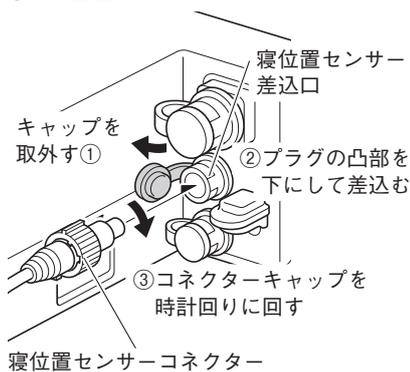


ACアダプターコネクタを接続する際はケーブルを下にして差し込み、カバーをACアダプターコネクタに覆いかぶせるようにしっかりとさげてください。ACアダプターコネクタが抜けやすくなります。

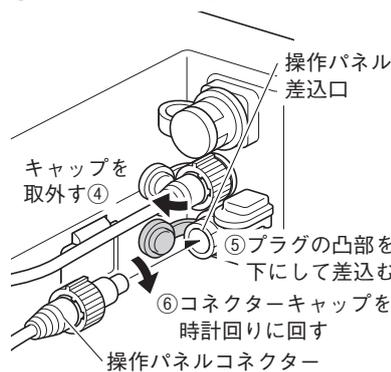


ポンプ本体の電源が入った状態で寝位置センサーや操作パネル、ベッドリンクケーブルのコネクタをポンプ本体に抜き差ししないでください。静電気により寝位置センサーや操作パネル、ポンプ本体が破損する恐れがあります。

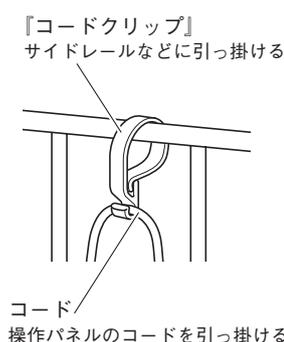
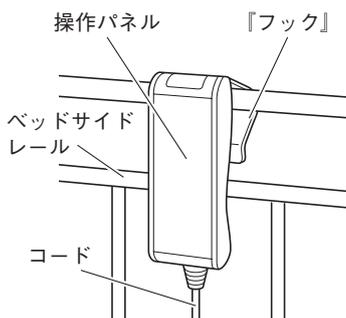
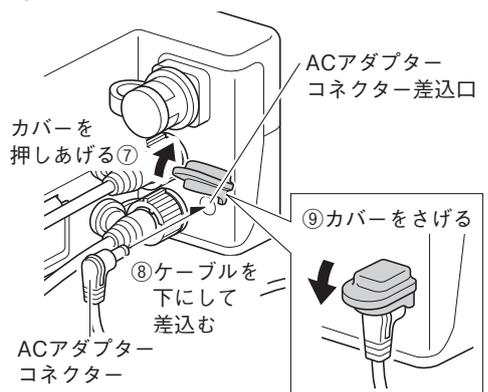
② 寝位置センサーの接続



③ 操作パネルの接続



④ ACアダプターの接続

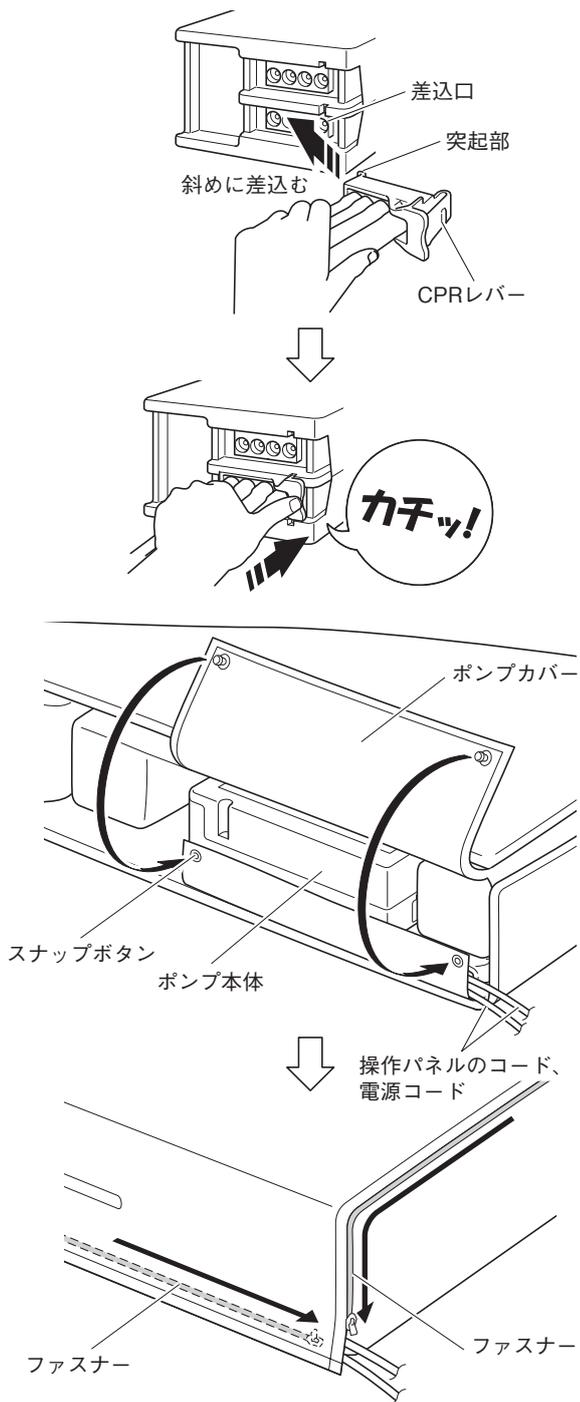


⑤ フックやコードクリップを利用して、操作パネルをベッドサイドレールやベッドのフットボード上部に引っ掛けてください。



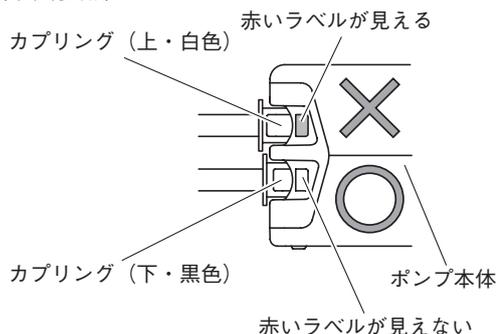
操作パネルは所定の位置（ベッドサイドレール・ベッドのフットボード上部）に引っ掛けてください。ボタンを誤って押すなどし、本製品が思わぬ動きをしてけがをするおそれがあります。また、コードがベッドの可動部やベッドサイドレールなどにはさまれて断線し、誤動作・故障するおそれがあります。

4. ポンプ本体とマットレス本体の接続



カプリングには、上段用の「カプリング（上）」と下段用の「カプリング（下）」があります。接続する際は、下段から上段の順に差込んでください。

- ① カプリング奥側の突起部をポンプ本体の差込口の溝に斜めに差込んだ後、手前側のCPRレバーを「カチッ」と音がするまでまっすぐ、しっかりと差込んでください。
- ② カプリングを取付けた後、側面2ヶ所の穴からカプリングに貼ってある赤いラベルが見えないことを確認してください。（下図参照）



- ③ ポンプカバーのスナップボタンを2ヶ所留めてください。
- ④ 側地のファスナー（2ヶ所）を閉じ、ファスナーの間の側地の隅から操作パネルのコードおよび電源コード（ACアダプター使用時のみ）を側地の外に出してください。

警告

- ポンプ本体とカプリング（上・下）が正しく接続されていることを確認してください。効果的に体圧分散ができなくなるおそれがあります。
- ポンプカバーのスナップボタンを確実に留めて、ポンプ本体設置位置内に固定してください。固定が不十分だとポンプ本体が落下してけがをしたり、破損・変形したりするおそれがあります。また、破損によりショートして感電・火災のおそれがあります。

注意

本製品を移動する際は、ポンプ本体を取外してください。ポンプ本体が落下して、ポンプ本体が破損・変形するおそれがあります。

5. ベッドリンクケーブル（別売）とベッドの配線（ベッドリンク機能を使用する場合のみ）

ベッドリンクケーブルを使用して、弊社指定の適合するベッドに本製品を接続することで、背あげ時/背下げ時の圧迫軽減機能とベッドからの電源供給機能を使用することができます。

適合するベッド・ベッドリンクケーブルタイプ・ベッドとの接続方法は、右記の二次元バーコードを読み取っていただくか、下記Webサイトをご覧ください。

https://www.paramount.co.jp/cms/pdf/user's_manual/200917rirakuflow_setuzoku_Ver00.pdf



警告

ベッドリンクケーブル（別売）を使用する際は、ベッドとの接続方法を確認し、正しく配線してください。ベッドの可動部などにケーブルがはさまって破損し、ショートして感電・火災のおそれがあります。

3 設置方法

6. 電源コードの配線



- 電源コードは、本製品への乗り降りやベッドサイドテーブルなどを使用しない側に配線してください。電源コードに足を引っ掛けて転倒するおそれがあります。また、電源コードの破損などにより、感電・火災のおそれがあります。
- 電源コード・電源プラグは正しく配線してください。間違った配線をする、手・足などが引っ掛かりけがをするおそれがあります。また、電源コードがベッドの可動部にはさまれて断線し、感電・火災のおそれがあります。
- 高さ調節・膝あげ機能付きのベッドの場合は、高さ・膝を最大まであげた状態で配線してください。あげた状態で配線しないと、使用中に高さ・膝をあげた際に電源コードが引っ張られて断線し、火災のおそれがあります。

■ベッドの足側にコンセントがある場合

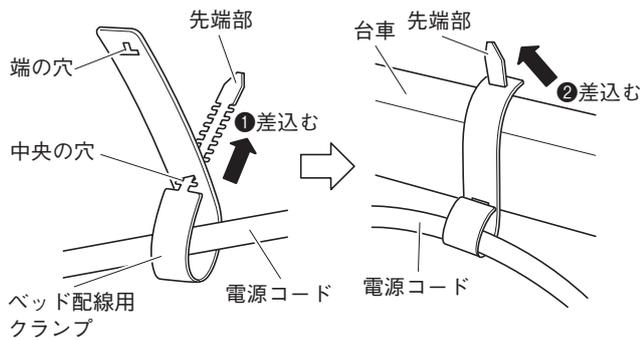
電源コードがベッド内部やベッドの下を通らないように配線してください。

■ベッドの頭側にコンセントがある場合

電源コードをコンセントの位置により、付属のベッド配線用クランプでベッドに固定してください。(2ヶ所)



本製品はアース線をつなぐ必要はありません。



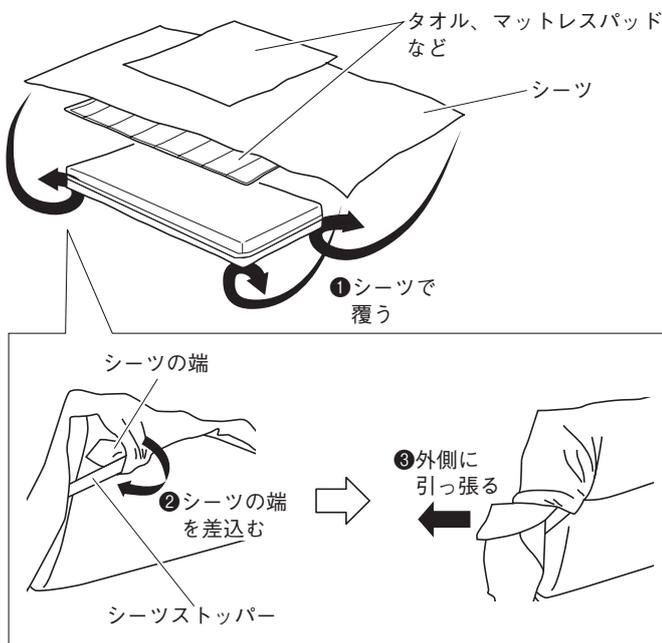
【ベッド配線用クランプの取付かた】

- ①電源コードを巻き込みながら、ベッド配線用クランプ中央の穴にベッド配線用クランプ先端部を差込んで輪を作ってください。
- ②ベッド配線用クランプの余った部分をベッドの台車に巻きつけ、先端部を端の穴に差込んで固定してください。
- ③固定後、ベッド配線用クランプが左右にずれないこと、電源コードが無理に引っ張られていないことを確認してください。締付けがゆるい場合は、ベッド配線用クランプ端部を再度締付け、確実に固定してください。

ベッドの頭側にコンセントがある場合の電源コードの配線方法は、ベッドの種類によって異なります。配線方法については、右記の二次元バーコードを読み取っていただくか、下記Webサイトをご覧ください。
https://www.paramount.co.jp/cms/pdf/user's_manual/200917rirakuflow_setuzoku_Ver00.pdf



7. ベッドメイクのしかた



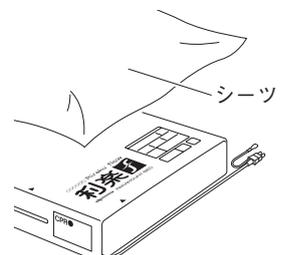
- ①本製品が膨らんだ後、左図を参照して、エアマットレスの表（おもて）面と側面をシーツで覆ってください。
※必要に応じてタオルやマットレスパッドなどを敷いてください。
- ②マットレスの裏面四隅にあるシーツストッパーにシーツの端を差込んでください。
- ③シーツの端を内側から外側に向かってゆるまないように、しっかりと引っ張ってください。



シーツストッパーはシーツ掛け以外の目的で使用しないでください。

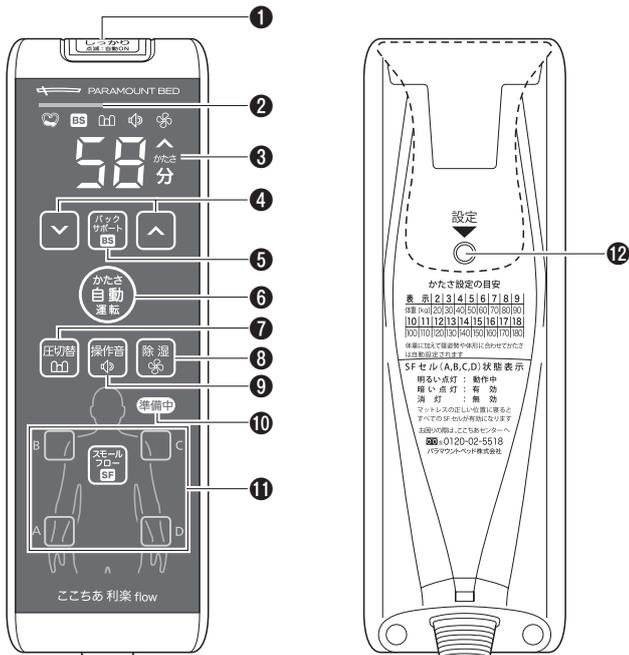


電源コードをポンプ本体と左右反対側に配線する場合は、右図のようにマットレス幅方向に電源コードを沿わせ、シーツで覆ってください。ベッドサイドレールを足側に格納している際に引っ掛かり、断線して感電・火災のおそれがあります。



4 機能と使用方法

1. 操作パネルの名称と機能



- ① しっかりモードボタン 〔P. 11ページ〕
- ② 電源ランプ
 - ・ 緑点灯：作動中
 - ・ 橙点灯：軽微エラー 〔P. 17ページ〕
 - ・ 橙点滅：重度エラー 〔P. 17ページ〕
- ③ 状態表示画面
運転状態や各種設定状態などを表示します。
- ④ 調節ボタン
マットレス幅やかたさを設定します。
- ⑤ バックサポート (BS) ボタン 〔P. 9ページ〕
- ⑥ かたさ自動運転ボタン 〔P. 9ページ〕
- ⑦ 圧切替ボタン 〔P. 10ページ〕
- ⑧ 除湿ボタン 〔P. 10ページ〕
- ⑨ 操作音ボタン 〔P. 10ページ〕
- ⑩ 準備中表示
ターボ運転による内圧調整中に点灯します。
- ⑪ スモールフロー (SF) ボタン 〔P. 10ページ〕
- ⑫ 設定ボタン 〔P. 9ページ〕

2. 使用開始

■ 空気注入完了時間について

電源プラグをコンセントに差し込むと、しばらくしてから自動的にエアセルに空気が入ります。空気注入中は「準備中」表示が点灯します。空気注入が完了すると「準備中」表示が消灯します。(空気注入完了時間：10分)

■ かたさ自動運転の場合

使用する方が臥床すると、体重や体型、寝姿勢にあわせたかたさ(マットレス内圧)に自動設定されます。設定かたさはしばらく表示された後に消灯し、[かたさ自動運転]ボタンを押すことでしばらく表示されます。



けいこく
警告

かたさ自動運転を使用する場合は、マットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定が同じであることを確認してください(9ページ参照)。マットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定が異なると、効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。



- かたさ自動運転中に使用する方が離床すると、かたさは5に設定されることがありますが故障ではありません。
- 使用する方が臥床すると、5~15分程で使用する方の体重や体型、寝姿勢にあわせたかたさに設定されます。

■ かたさ手動運転の場合

調節ボタンを押してかたさを調節してください。なお、かたさ自動運転を使用する際は、9ページを参照して切替えてください。

■ ターボ運転

電源が供給された際やしっかりモードをONにした際にマットレスを高速で膨張させます。
※ターボ運転時はポンプの音が大きくなり、操作パネルの「準備中」表示が点灯します。

■ 電源OFF後の機能維持

- 次の場合、各機能の設定は直前の設定が維持されます。
 - ・ 停電後に電源が復旧した場合
 - ・ 電源プラグを抜いてから差し込んで再起動させた場合
- しっかりモードは直前の残り時間が維持されます。
- かたさ手動運転でかたさ「18」を使用していた場合は、かたさ「18」になります。

■ 停電対策機能

停電時は空気の排出を自動的に停止します。使用状況により異なりますが、2週間空気を保持することができます。ただし、停電中は圧切替などの除圧効果や機能は働きませんので、使用する方の状態に注意してください。なお、スモールフロー用エアセル(SFセル)は膨張状態を維持しますので、必要に応じてカブリング(上)を外し、SFセルを縮めてください。

4 機能と使用方法

3. 各機能の設定

3-1. 設定表示への切替方法

- ① 操作パネル裏面の設定ボタンを押してください。
- ② 設定ボタンを押すと、各種設定ボタンが点灯し操作可能になります。各種設定ボタンのうち、選択されていない設定ボタンは暗く表示します。
- ③ 操作パネル裏面の設定ボタンを押してください。設定の変更が完了し、各種設定ボタンが消灯します。

注記 設定表示中に各種設定を選択しても、再度操作パネル裏面の設定ボタンを押さないと設定の変更は完了しません。設定変更後は、状態表示画面で変更が反映されたことを確認してください。

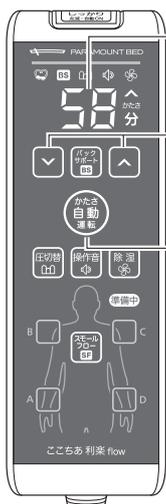


3-2. 設定の変更方法



■かたさ自動運転設定

使用される方の体重や体型、寝姿勢にあわせてエアセルの内圧を自動で変更します。また、エアセルの内圧を手動で変更することもできます。(初期設定はかたさ自動運転、初期かたさは5)



- 状態表示画面 (デジタル数字)
自動運転時：マットレス幅表示
手動運転時：かたさ表示
- 調節ボタン[V][^]
自動運転時：マットレス幅選択
手動運転時：かたさ調節
- かたさ自動運転ボタン
自動運転時：明るく表示
手動運転時：暗く表示

【かたさ自動運転/かたさ手動運転の切替】

- ① 設定ボタンを押して、設定表示にしてください。
- ② [かたさ自動運転]ボタンを押して、かたさ自動運転とかたさ手動運転を切替えてください。
- ③ **かたさ自動運転の場合**：必要に応じて、調節ボタンを押して、マットレス幅を設定してください。
かたさ手動運転の場合：調節ボタンを押して、かたさを調節してください。かたさ調節は2～18の18段階です。(下記参照)
- ④ 設定ボタンを押して、設定を完了してください。

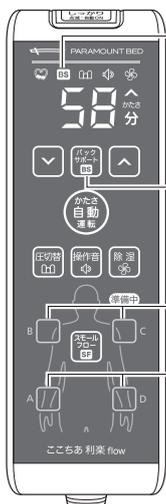
かたさ	2	3	4	5	6	7	8	9	10
体重(kg)	20~24	25~34	35~44	45~54	55~64	65~74	75~84	85~94	95~104
かたさ	11	12	13	14	15	16	17	18	18^
体重(kg)	105~114	115~124	125~134	135~144	145~154	155~164	165~174	175~180	※

※高体重の方が背あげ時に底ついてしまう場合、かたさ18より1つ上のかたさ「18^」をご使用ください。(120分経過すると自動的にかたさが18になります。)



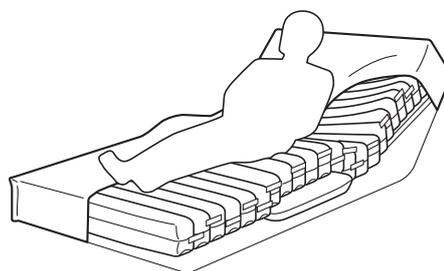
■バックサポート (BS) 設定

ベッドの背あげ操作を行うと、寝位置センサーが背角度が30°以上になったことを自動で検知し、スモールフロー用エアセル (SFセル) をすべて膨張させ、使用される方の姿勢を保持させます。(初期設定：設定)



- 状態表示画面 (BS アイコン)
設定時：表示
非設定時：非表示
- バックサポートボタン
設定時：明るく表示
非設定時：暗く表示
- A ~ Dボタン
バックサポート運転時：BとC→AとDの順番に点灯

- ① 設定ボタンを押して、設定表示にしてください。
- ② [バックサポート]ボタンを押して、設定/非設定を切替えてください。
- ③ 設定ボタンを押して、設定を完了してください。



注記 バックサポート運転時はA～Dボタンが点灯していることを確認してください。



■ 圧切替設定

エアセルが3連切替で順次膨張収縮を繰り返し、身体にかかる圧力を順次開放します。(初期設定：設定)



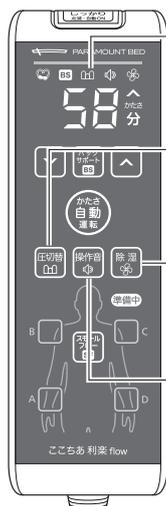
■ 操作音設定

操作パネルの操作音の設定/非設定を選択できます。(初期設定：設定)



■ 除湿設定

エアマットレス内に定期的に空気を送り出すことで、内部に浸透した湿気や熱を排出します。(初期設定：設定)



状態表示画面 (📶 🔊 🌀 アイコン)

設定時 : 表示
非設定時 : 非表示

圧切替ボタン

設定時 : 明るく表示
非設定時 : 暗く表示

除湿ボタン

設定時 : 明るく表示
非設定時 : 暗く表示

操作音ボタン

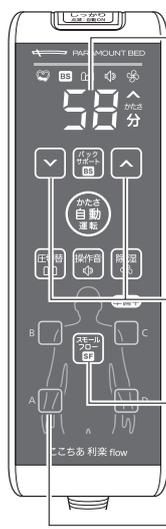
設定時 : 明るく表示
非設定時 : 暗く表示

- ① 設定ボタンを押して、設定表示にしてください。
- ② [圧切替]ボタン/[操作音]ボタン/[除湿]ボタンを押して、設定/非設定を切替えてください。
- ③ 設定ボタンを押して、設定を完了してください。



■ スモールフロー (SF) 設定

4つの独立したスモールフロー用エアセル (SFセル) がA ~ Dの順番に1ヶ所15分ずつ膨張収縮して自動体位交換を行います。使用される方の寝位置が著しくマットレスの端によっては、ずれや転落の原因となり得るSFセルを寝位置センサーで検知して、該当のSFセルを無効とし、自動で順番を飛ばして膨張収縮を行います。また拘縮や疼痛などがある場合は、手動でSFセルの有効/無効の設定を切替えて、任意のSFセルの膨張収縮の順番を飛ばすことができます。(初期設定：スモールフロー)



状態表示画面 (デジタル数字)

手動SFセル膨張時に[A] ~ [D]ボタンを選択するとかたさ表示



調節ボタン[V][^]

手動SFセル膨張時にかたさ調節

スモールフローボタン

スモールフロー時 : 明るく表示
手動SFセル膨張時 : 暗く表示

A ~ Dボタン

スモールフロー時 : 有効/無効の切替え
手動SFセル膨張時 : かたさ調節するSFセルを選択

【スモールフロー/手動SFセル膨張の切替】

- ① 設定ボタンを押して、設定表示にしてください。
- ② [スモールフロー]ボタンを押して、スモールフローと手動SFセル膨張を切替えてください。
- ③ スモールフロー時 :
必要に応じて、[A] ~ [D]ボタンを押し、SFセルの有効/無効の設定を切替えてください。
・ SFセル有効時 : [A] ~ [D]ボタンが明るく表示
・ SFセル無効時 : [A] ~ [D]ボタンが暗く表示



- スモールフローの順次膨張収縮は有効状態のSFセルのみで行われます。
- バックサポートが非設定のときは、背角度が45°以上になると、すべてのSFセルが無効になります。

SFセンサー OFFモード :

設定ボタンを押しながら電源プラグをコンセントに差し込むと、寝位置によらずSFセルを有効にできます。([スモールフロー]ボタンが点滅します。なお、この状態では自動しっかりモードは機能しません。) SFセンサー OFFモードをやめる場合は、再度設定ボタンを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。

手動SFセル膨張時 :

[A] ~ [D]ボタンを選択し、調節ボタンを押して、SFセルのかたさを調節してください。かたさ調節は0~3の4段階です。



- 手動SFセル膨張時にかたさ0に設定されたSFセルは膨張しません。また、かたさ1~3に設定されたSFセルは、順次膨張収縮せず膨張を維持します。
- 使用される方の状態を確認しながら、SFセルを適切なかたさに調節してください。

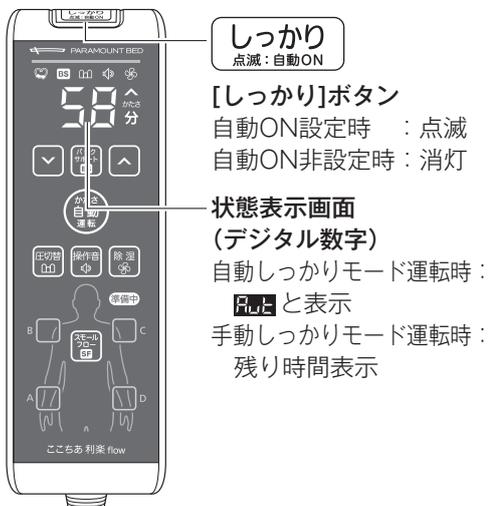
- ④ 設定ボタンを押して、設定を完了してください。

4 機能と使用方法

3-3. しっかりモード

ベッドへの乗り降り、端座位や体位変換などを行いやすいようにエアセルの内圧を上昇させます。また、スモールフロー用エアセルは収縮させます。

端座位をとる際は、使用される方の姿勢をより安定させるためにしっかりモードをお使いください。



しっかり
点滅：自動ON

[しっかり]ボタン

自動ON設定時：点滅

自動ON非設定時：消灯

状態表示画面
(デジタル数字)

自動しっかりモード運転時：

50分と表示

手動しっかりモード運転時：

残り時間表示

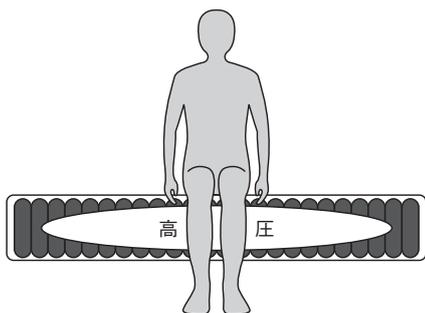
■自動しっかりモード設定

寝位置センサーが使用する方の起き上がりやマットレス端への寝返り、端座位を検出し、自動でしっかりモードをONにします。

- ① 設定ボタンを押して、設定表示にしてください。
- ② 操作パネル天面の[しっかり]ボタンを押して、設定/非設定を切替えます。
- ③ 設定ボタンを押して、設定を完了してください。



- 自動しっかりモードで端座位を検出できる範囲は、マットレス中心の3分の1の長さの範囲になります。
※本製品にある図の印字を参考にしてください。
- ベッドの背角度が20°以上のときはマットレス端への寝返りと端座位のみ検出し、起き上がりは検出しません。
- 自動しっかりモード運転中は[しっかり]ボタンが青く点滅し、状態表示画面に **50分** と表示されます。
- 自動しっかりモード運転中に[しっかり]ボタンを押すと、手動で自動しっかりモードをOFFにできます。(自動しっかりモードは設定されたままです。)
- 次の場合、自動的に自動しっかりモードがOFFになります。(自動しっかりモードは設定されたままです。)
 - ・使用している方がマットレス中央で10秒静止した場合
 - ・使用している方がマットレス端で5分静止した場合
 - ・60分経過した場合
- 使用環境や使用している方の動作・姿勢によっては正しく検出されない場合があります。



■手動しっかりモードONの操作方法

操作パネル天面の[しっかり]ボタンを押してください。手動しっかりモードに切替わり、[しっかり]ボタンが青く点灯して、状態表示画面が残り時間表示になります。

(例) **60分**

■手動しっかりモードOFFの操作方法

手動しっかりモード運転時に[しっかり]ボタンを押してください。手動しっかりモードがOFFになり、通常表示に戻ります。

※手動しっかりモードは60分経過すると自動的にOFFになります。

※各機能の設定は、手動しっかりモードをONにする前の設定に戻ります。

3-4. 圧迫軽減機能/ベッドからの電源供給機能(ベッドリンクケーブルD・E(別売)使用時)

ベッドリンクケーブルD・E(別売)を用いてポンプ本体とベッドを接続すると状態表示画面に  が表示され、下記の機能がONになります。

■圧迫軽減機能

ベッドの背角度が20°以上のとき、背あげ動作時および背さげ動作時に高速で圧切替を行い、上半身の圧迫を軽減します。

■ベッドからの電源供給機能

ベッドリンクケーブルを通して、ベッドから本製品に電源を供給します。

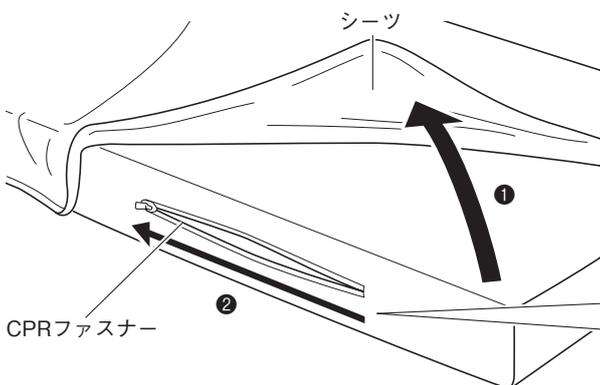
※本機能使用時は本製品の電源コードは使用しません。

3-5. 設定リセット

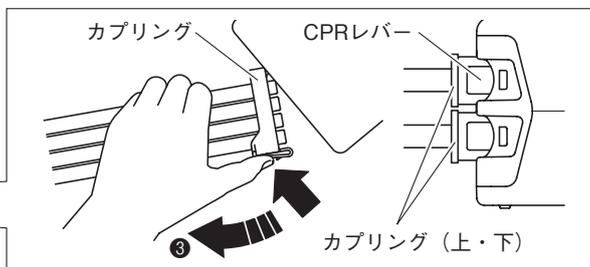
設定ボタンを押して設定表示にし、[しっかり]ボタンを長押ししてください。「ピー」と音が鳴り、設定が初期設定になります。

4. CPR機能の使いかた

緊急時などにCPR機能を使用することで、エアマットレスの空気がすばやく排出され、30秒以内で心臓マッサージが行えるようになります。



- ① ポンプ本体付近のシートを外してください。
- ② CPRファスナーを開けてください。
- ③ CPRレバーを押しながら、カップリング(上・下)を手前に引抜いてください。



5 お手入れと点検

1. お手入れ



- お手入れは、電源プラグおよびベッドリンクケーブルを抜いて行ってください。本製品が誤動作し、けがをするおそれがあります。
- お手入れ後は、グライドシートおよびエアセルと側地（ボトムカバー、ポンプカバー）をつなぐ紐が確実に結ばれていることを確認してください。お手入れのために紐をほどいた場合は、お手入れ後に各部の紐を確実に結んでください。紐がほどけていると、エアセルが片寄り効果的に体圧分散できなくなるおそれがあります。



- ACアダプターを入れたまま側地を洗淨しないでください。破損するおそれがあります。
- お手入れのためにポンプ本体をマットレス本体から外した場合は、カプリング（上・下）およびポンプ本体の差込口（上段・下段）に水などが浸入しないように注意してください。ポンプ本体やエアセルに水分が浸入すると、故障やカビ発生の原因となります。
- お手入れ後は、ファスナーが確実に閉まっていることを確認してください。開いているファスナーから水分などが浸入して、詰め物（エアセル・送風チューブなど）が劣化したり、カビが発生したりする原因となります。
- マットレス洗淨機やオートクレーブ滅菌器・オゾン殺菌器などでは洗淨しないでください。本製品や洗淨・殺菌設備などが変質・破損・劣化するおそれがあります。
- ファスナーを開けて清拭をしないでください。詰め物（エアセル・送風チューブなど）が劣化したり、カビが発生したりする原因となります。
- 血液・尿・皮脂などの汚れは放置せず、こまめに中性洗剤や石鹼を用いて落としてください。放置すると側地が劣化したり、においやしみが残ったりするおそれがあります。
 - ・ 使用中についた側地においては、市販の口内洗淨剤を使用すると軽減する場合があります。
 - ・ しみがある場合は、オキシドール（過酸化水素水：濃度3%）でしっかり拭き取ってください。
- 揮発性のもの（シンナー・ベンジン・ガソリンなど）やクレゾールは使用しないでください。変色・変質するおそれがあります。
- 消毒剤を使用する場合は、指定以外の薬品を使用しないでください。側地の防水性能などの劣化や変色が生じるおそれがあります。

■ 側地の清拭方法（清拭タイプの側地・ポンプカバー、通気タイプのポンプカバー）

- ① 石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）で拭き、汚れを落としてください。
- ② 消毒剤で清拭消毒してください。
消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱い方法に従って使用してください。

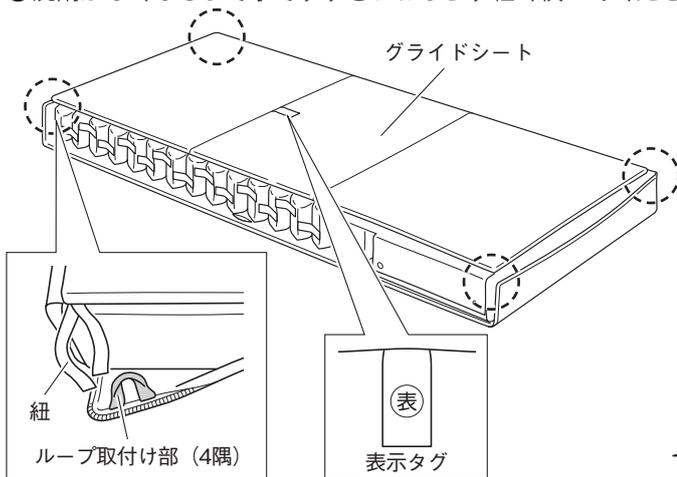
● 76.9 ~ 81.4% 消毒用エタノール	● 0.05~0.2% 塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
● 70% イソプロパノール	● 0.05~0.2% 塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
● 0.02~1.0% 次亜塩素酸ナトリウム（ビューラックスなど）	● 0.05% グルコン酸クロルヘキシジン（ヒピテンなど）
- ③ ベッドの上などで自然乾燥させてください。※天日干しはしないでください。

■ 側地（トップカバー）の洗淨方法（清拭タイプ）

- ① ファスナーを開けて、側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ② 石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）でつけ洗いでください。
- ③ 洗剤がなくなるまですすぎ、ねじらず軽く絞ってください。
- ④ 陰干しして完全に乾燥させてください。

■ グライドシート・ウレタンフォームの洗淨方法（清拭タイプ・通気タイプ）

- ① ファスナーを開けて、側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ② 4隅のループから紐を解いてグライドシートとウレタンフォームを一緒に取外してください。
- ③ グライドシートとウレタンフォームを分離せず、石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）で一緒につけ洗いでください。
- ④ 洗剤がなくなるまで水ですすぎ、ねじらず軽く絞ってください。陰干しして完全に乾燥させてください。



【グライドシートの取付けかた】

- ① グライドシートを表示タグが表側になるようにエアセルの上に敷いてください。
- ② グライドシートの4隅の紐を側地（ボトムカバー）の外側から内側に向かってループに紐を通して固結びで結んでください。



- グライドシートを取付けるときは、中のウレタンシートの片寄りやよれがないようにしてください。
- グライドシートとウレタンフォームは分離しないでください。分離した場合は、グライドシートの内側と外側が裏返っていないことを確認してウレタンフォームを入れてください。（表示タグがグライドシートの外側につくようにしてください）

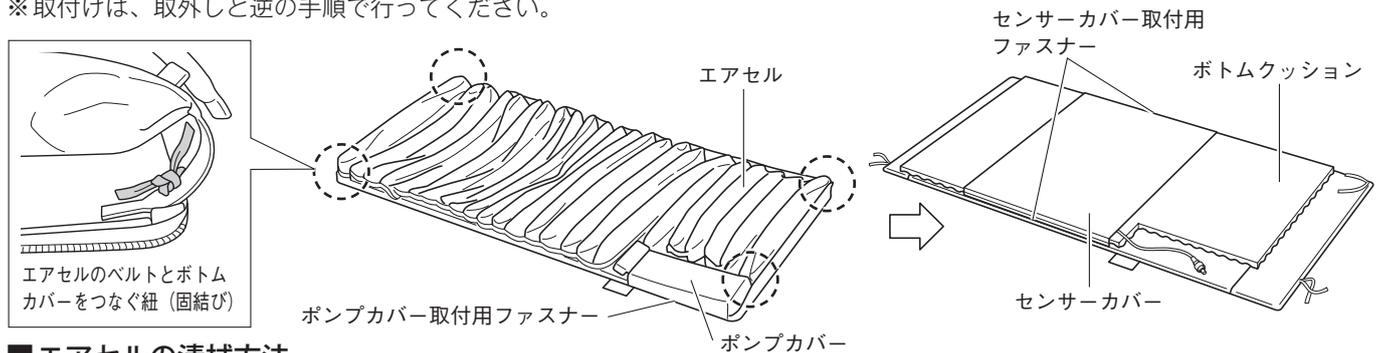
5 お手入れと点検

■側地（トップカバー）の洗浄方法（通気タイプ）

- ①ファスナーを開けて、側地（トップカバー）を側地（ボトムカバー）から取外してください。
- ②品質表示ラベルの絵表示に従って、洗浄してください。

■側地（ボトムカバー）の洗浄方法（通気タイプ）

- ①グライドシートを取外してください。（12ページ参照）
 - ②4隅とエアセルのベルトをつないでいる紐をほどき、ポンプカバー取付用ファスナーを開いて、エアセルとポンプカバーを側地（ボトムカバー）から取外してください。
 - ③センサーカバー取付用ファスナーを開いて、センサーカバーとボトムクッションを側地（ボトムカバー）から取外してください。
 - ④品質表示ラベルの絵表示に従って、洗浄してください。
- ※センサーカバーは側地（トップカバー）の洗浄方法（清拭タイプ）を参考に清拭してください。（12ページ参照）
 ※ボトムクッションはグライドシート・ウレタンフォームの洗浄方法を参考に洗浄してください。（12ページ参照）
 ※取付けは、取外しと逆の手順で行ってください。



■エアセルの清拭方法

- ①カプリング（上・下）をポンプ本体から取外し、エアセルの空気を抜いてください。
- ②側地（トップカバー）を取外してください。
- ③側地の清拭方法と同様に、エアセルを清拭してください。（12ページ参照）
- ④自然乾燥させ、必ずカプリング（上・下）とポンプ本体を確実に取付けてください。（6ページ参照）
- ⑤側地のファスナーをしっかりと閉めてください。



お手入れ後は送風チューブのコネクターが外れていないことを確認してください。空気の供給ができなくなるおそれがあります。



- エアセルをお手入れする際は、エアセル1本1本をマットレスから分離しないでください。
- 長期間使用すると、エアセルのウレタンフィルムが変色することがありますが、機能的には問題ありません。

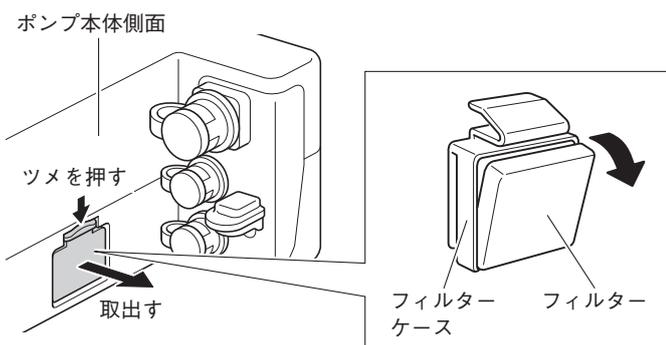
■ポンプ本体および操作パネルの清拭方法

- ①石鹼水（市販の石鹼、中性洗剤などを水で薄めたもの）でポンプ本体および操作パネルを拭き、汚れを落としてください。
- ②消毒剤でポンプ本体および操作パネルを清拭消毒してください。消毒剤は、必ず下記の薬品を指定の濃度を守って使用してください。また、各消毒剤の取扱い方法に従って使用してください。

● 76.9 ~ 81.4% 消毒用エタノール	● 0.05~0.2% 塩化ベンザルコニウム（オスバンなど）
● 70% イソプロパノール	● 0.05~0.2% 塩化ベンゼトニウム（ハイアミンなど）
● 0.02~1.0% 次亜塩素酸ナトリウム（ピューラックスなど）	● 0.05% グルコン酸クロルヘキシジン（ヒビテンなど）

■フィルターの交換

フィルターは定期的に点検・交換をしてください。ここちあ用フィルターについては、販売店またはここちあセンター（裏表紙参照）までお問い合わせください。



- ①ポンプ本体側面にあるフィルターケースのツメを押し、ケースを取出してください。
- ②フィルターを交換してください。フィルター交換後は、フィルター使用時間をリセットしてください。

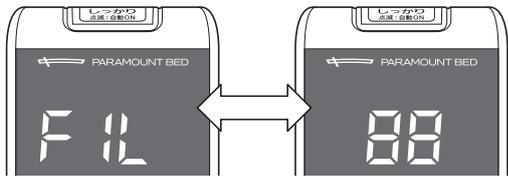


- フィルターは定期的に点検を行ってください。フィルターが目詰まりしていると、正常に作動しないおそれがあります。
- 指定以外のフィルターを取付けたり、付け忘れたりすると、ポンプ内部に虫やほこりが入り込み、正常に作動しないおそれがあります。また、故障の原因となります。

2. 点検

■フィルター確認モード

フィルターの使用時間の確認およびフィルター使用時間のリセットができます。



※フィルター使用時間は100の桁より上の数字が表示されます。
 例) 160時間→表示“1” 80時間→表示“0”
 ※使用場所や環境・使用時間により異なりますが、連続使用の場合、フィルターは表示“88”が交換の目安です。

- ① 設定ボタンを長押ししてください。
- ② 状態表示画面に「FIL」の表示とフィルター使用時間の表示が交互に表示されます。
- ③ 設定ボタンを押してください。または、1分経過でフィルター確認モードは終了します。

【フィルター使用時間のリセット方法】

フィルター確認モード中にしっかりモードボタンを3秒間押ししてください。「ピー」と音が鳴ってフィルター使用時間の表示が“0”になります。

■日常点検

使用する際は、以下の点に注意して日常点検を行ってください。

点検箇所	点検項目	確認方法
マットレス本体	極端に沈み込んでいないか ※圧切替モードのときは、一部のエアセルが凹んでいます。 ※マットレス本体が極端に沈み込んでいる場合、エアセルが破損しているおそれがあります。内部のエアセルを確認し、15ページの「6 故障かな?と思ったら」を参照して、処置を行ってください。	触感
操作パネル	・電源ランプは緑色に点灯しているか ・エラーコードが出ていないか ※電源ランプが緑色に点灯していない場合やエラーコードが表示されている場合、15ページの「6 故障かな?と思ったら」を参照して、処置を行ってください。	目視
カプリング (上・下)	ポンプ本体に確実に固定されているか ※確実に固定されていない場合は、6ページの「4. ポンプ本体とマットレス本体の接続」を参照して、再度接続してください。	
ケーブル接続部 (ポンプ本体)	・ケーブルやACアダプターコネクタは確実に接続されているか ※確実に接続されていない場合は、5ページの「3. ポンプ本体の設置・ACアダプターと操作パネルの接続」を参照して、再度接続してください。 ・キャップは確実に取付けられているか(操作パネル・ベッドリンクケーブル接続時は除く) ※外れている場合、水分やほこりなどが入り込み、感電・故障の原因となります。確実に取付けてください。	

■定期点検

安全にご使用いただくために、1年に1回は点検してください。使用の頻度や環境により製品は摩耗・劣化します。定期的に以下の項目を点検してください。異常が認められた場合や詳しい点検をご希望される場合は、ここちあセンター(裏表紙参照)までお問い合わせください。

点検箇所	点検項目	確認方法
側地	破損していないか	目視
マットレス本体内部	・スナップボタンが取付けられているか ・送風チューブとエアセルが接続されているか ・カプリング(上・下)と送風チューブが接続されているか ・ウレタンフォームは破損していないか	
ポンプ本体	・破損していないか ・フィルターが汚れていないか ※フィルターが汚れている場合は、13ページの「フィルターの交換」を参照して、フィルターを交換してください	
カプリング (上・下)	破損していないか	
コード類	・傷や破損がないか ・ベッド配線用クランプがずれて、電源コードがたるんでいないか ※電源コードがたるんでいる場合は、7ページの「ベッド配線用クランプの取付けかた」を参照して、正しく配線してください。	
操作パネル	・コードがエアマットレスやベッドに絡まっていないか ・プラグやコードに傷などがいないか ・操作パネル本体に傷や破損がないか ※傷んだ操作パネルなどの電装品は、修理(交換)を依頼してください。	
寝位置センサー	・傷や破損がないか ・カバーから外れていないか ・左右のセンサーカバー取付用カバーのファスナーが閉まっているか ・センサーシートが折れ曲がっていないか	

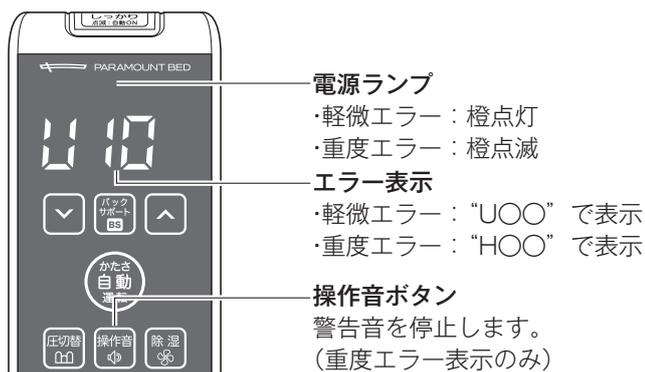
6 故障かな？と思ったら

故障でない場合がありますので、修理を依頼される前にもう一度、以下の項目をチェックしてください。チェック・処置をしても正常に動作しない場合や原因が分からない場合は、本製品の使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはここちあセンター（裏表紙参照）まで修理をご依頼ください。

症状・状態	エラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作パネルの電源が入らない	—	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグはコンセントに接続されていますか？ 電源コードはACアダプターに接続されていますか？ ACアダプターコネクタはポンプ本体に接続されていますか？ 操作パネルはポンプ本体に接続されていますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに差込んでください。 電源コードをACアダプターに差込んでください。 ACアダプターコネクタをポンプ本体に差込んでください。 操作パネルをポンプ本体に接続してください。 	4・5
		電源プラグはコンセントに差込んでいるが、操作パネルの電源ランプが消えていませんか？	コンセントに他の電気機器のプラグを差込んで、電気が来ているかを確認してください。	—
マットレス本体が膨らまない	—	—	フィルターが目詰まりしている可能性があります。フィルターを交換してください。交換フィルターについては販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	13・14
	U10	カプリング（上・下）がポンプ本体から抜けていませんか？	カプリング（上・下）をポンプ本体の差込口に差直してください。	6
部分的にエアセルの空気が抜けている	—	圧切替が設定されていませんか？	圧切替が設定されているため、エアセルが順次膨張・収縮します。故障ではありません。	10
	U10・U11・U12・U13・U14・U15・U16・U17・U19	エアセルに穴が開いていませんか？	エアセルが破損しています。販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	裏表紙
		エアセルと送風チューブの接続が外れていませんか？	エアセルと送風チューブを接続してください。	13
	U21・U22・U23・U24・U25・U26・U27	送風チューブとカプリング（上・下）の接続が外れていませんか？	送風チューブとカプリング（上・下）を接続してください。	14
		送風チューブが折れ曲がっていませんか？	送風チューブを伸ばして接続してください。	13
マットレス本体がやわらかすぎる・底づきしてしまう	—	かたさ手動運転設定で極端に低いかたさに設定していませんか？	かたさ設定の目安を見ながらかたさを手動設定してください。またはかたさ自動運転をご使用ください。	9
		使用する方がベッドから離れていませんか？	かたさ自動運転中に使用の方がベッドから離れると、かたさが自動で調整されます。使用の方が寝られると、再び使用の方に適したかたさに自動で設定されます。故障ではありません。	9
		かたさ手動運転の状態でもベッドの背あげをしていませんか？	ベッドの背あげをする際は、かたさ自動運転に設定するか、底づかないことを確認しながらかたさ手動運転設定でかたさ設定をあげてください。	9
		本製品を使用する方は骨突出や円背、下肢拘縮が顕著な方ですか？	骨突出や円背、下肢拘縮が顕著な方が底づいてしまう場合は、底づかないことを確認しながら、かたさ手動運転設定でかたさ設定をあげてください。	9
エアセルまたはスモールフロー用エアセル（SFセル）が順次膨張・収縮しない	—	圧切替またはスモールフローが非設定（手動SFセル膨張）になっていませんか？	順次膨張・収縮させる場合は、圧切替やスモールフローを設定してご使用ください。	10
		しっかりモードがONになっていませんか？	しっかりモード中は、エアセルやスモールフローセルが順次膨張・収縮しません。故障ではありません。	11
		寝位置がマットレス端に偏っていませんか？	寝位置センサーが寝位置の偏りを検出してスモールフローが無効になっています。マットレス中央に寝直してください。	—
		ベッドの背あげをしていませんか？	スモールフロー運転はバックサポートが動作しているときや、バックサポートが非設定でベッド角度が45°以上のときは自動でOFFになります。故障ではありません。	9・10
	U20・U28・U29	ヒーターやストーブの風がポンプ本体に当たっていませんか？または、電気掛毛布などの電気機器を40℃以上で使用していませんか？	ポンプ本体が暖まらないようにして、使用してください。	—
—	SFセルに穴が開いていませんか？	SFセルが破損しています。販売店またはここちあセンターまでご連絡ください。	裏表紙	
操作パネルにボタンが表示されない	U02	操作パネルが正しく接続されていますか？	操作パネルを正しく接続してください。	5
		他製品の操作パネルまたはポンプ本体を接続していませんか？	操作パネルとポンプ本体の組合せが正しいことを確認してください。	5
	U08	操作パネルのコードが傷ついていませんか？	販売店またはここちあセンターに、操作パネルの修理（交換）を依頼してください。	裏表紙
操作パネルのボタンを押しても、設定が変わらない	—	操作パネル裏面の設定ボタンを押しましたか？	操作パネル裏面の設定ボタンを押してください。	9
		設定変更後に操作パネル裏面の設定ボタンを再度押しましたか？	設定変更後に操作パネル裏面の設定ボタンを再度押してください。	9
		A～Dボタンが設定を完了すると消灯していませんか？	寝位置センサーが寝位置の偏りを検出してスモールフローが無効になっています。マットレス中央に寝直してください。	9
	U09	操作ボタンが押され続けていませんか？	押されているボタンを離してください。	—

症状・状態	エラーコード	チェック	処置	参照ページ
操作パネルの押し ていないボタンが 反応する	—	—	操作パネルの表面に触れないようにしながら、設定ボタンを押し直してください。	9
		操作パネルに 品点 が表示されていませんか？	人差し指や小指で操作してください。 自動しっかりモードが設定されているため、起き上がりやマットレス端への寝返り、端座位に応じて自動でしっかりモードが動作します。使用している方がマットレス中央に10秒横になると自動でOFFになります。必要時以外は非設定にしてご使用ください。	11
マットレス本体が 硬すぎる	—	かたさ手動運転設定で極端に高いかたさに設定していませんか？ ・ しっかりモードがONになっていませんか？ ・ 操作パネルに 品点 が表示されていませんか？	かたさ設定の目安を見ながらかたさを手動設定してください。またはかたさ自動運転をご使用ください。 しっかりモードまたは自動しっかりモードがONになっているため、マットレス内部の圧力が高くなっています。必要時以外はしっかりモードOFFまたは自動しっかりモード非設定にしてご使用ください。	9 11
	H02	—	本製品の使用を中止し、販売店またはこちらセンターまでご連絡ください。	裏表紙
かたさ自動運転の 設定値が使用する 方の体重とあわな い	—	・ ベッドの背あげをしていませんか？ ・ ポジショニングをしたり、座位をとっていませんか？ ・ 本製品を使用する方は骨突出や円背・下肢拘縮がある方ですか？	かたさ自動運転中は体重に加えて、ベッドの背あげや使用する方の寝姿勢・体型にあわせて、かたさは自動設定されます。故障ではありません。	9
		マットレス本体のサイズ印字の幅と操作パネルの幅設定が間違っていないですか？	操作パネルの幅設定をマットレス本体のサイズ印字の幅とあわせてください。	8
自動しっかりモー ドが動作しない	—	自動しっかりモードが非設定になっていませんか？	自動しっかりモードを設定してください。	11
		寝位置センサー検知範囲外で端座位をとっていませんか？	寝位置センサーの検知範囲はマットレス中心の3分の1の長さになります。センサー検知範囲内で端座位をとってください。	11
		ベッドの背あげをしていませんか？	ベッドの背角度が20°以上のときは起き上がりは検出せず、マットレス端への寝返りと端座位のみを検出します。故障ではありません。	11
		SFセンサーOFFモードになっていませんか？	この状態では自動しっかりモードは動作しません。設定ボタンを押しながら電源プラグをコンセントに差し込んでください。	10
		—	使用環境や使用している方の動作・姿勢によっては正しく検出されない場合があります。故障ではありません。	11
—	U31・U33・U35	寝位置センサーは正しく接続されていますか？	寝位置センサーを正しく接続してください。	5
自動しっかりモー ドが意図せず動作 する	—	—	自動しっかりモードが意図せず動作した場合も、使用している方がマットレス中央に10秒横になると自動でOFFになります。必要に応じて自動しっかりモードを非設定にしてご使用ください。故障ではありません。	11
	U34・U35	・ 寝位置センサーシートが折れ曲がっていませんか？ ・ 寝位置センサーがカバーから外れていませんか？	・ 寝位置センサーシートの折れ曲がり直してください。 ・ 寝位置センサーをカバーに取付けてください。	14
バックサポートが 動作しない	—	バックサポートが非設定になっていませんか？	バックサポートを設定してください。	9
		寝位置がマットレス端に偏っていませんか？	寝位置センサーが寝位置の偏りを検出してバックサポートが無効になっています。マットレス中央に寝直してください。	—
		U31・U32	寝位置センサーは正しく接続されていますか？	寝位置センサーを正しく接続してください。
—	U34	マットレスは正しく設置されていますか？	マットレスを正しく設置してください。	4
ポンプ本体内部で コンコン音がする	—	—	正常に動作しています。故障ではありません。	—
ポンプ本体が うるさい	—	ポンプ本体が、正しい位置に設置されていますか？	指定されている方法で、ポンプ本体を正しく設置してください。	5
		操作パネルの「準備中」表示が点灯していませんか？	操作パネルの「準備中」表示が点灯している間や背あげ/背さげ時の圧迫軽減動作中はターボ運転を行っており、通常運転時より運転音が大きくなります。故障ではありません。	8
異臭がする	—	定期的にお手入れしていますか？	「お手入れ」を参照してお手入れをしてください。	12
しっかりモード中 にスモールフロー 用エアセル（SFセ ル）が膨張する。 しっかりモード中 に「準備中」表示 がなかなか消灯し ない。	—	—	電源投入後初回のしっかりモードは動作確認のためSFセルの膨張収縮を行った後に「準備中」表示が消灯します。故障ではありません。	—

6 故障かな？と思ったら



■エラー発生時の操作パネルの表示内容

軽微エラーと重度エラーの2種類があります。

【軽微エラー】

電源ランプが橙色に点灯し、エラーコードが“U00”で表示されます。以下の状態になると、エラー表示が解除されます。

- ・エラーが解消される
- ・電源プラグをコンセントから抜き、再度コンセントに差込む

【重度エラー】

電源ランプが橙色に点滅し、エラーコードが“H00”で表示されます。また警告音が鳴りポンプ本体の動作は停止します。

※本製品の使用を中止し、販売店またはここちあセンター（裏表紙参照）までご連絡ください。

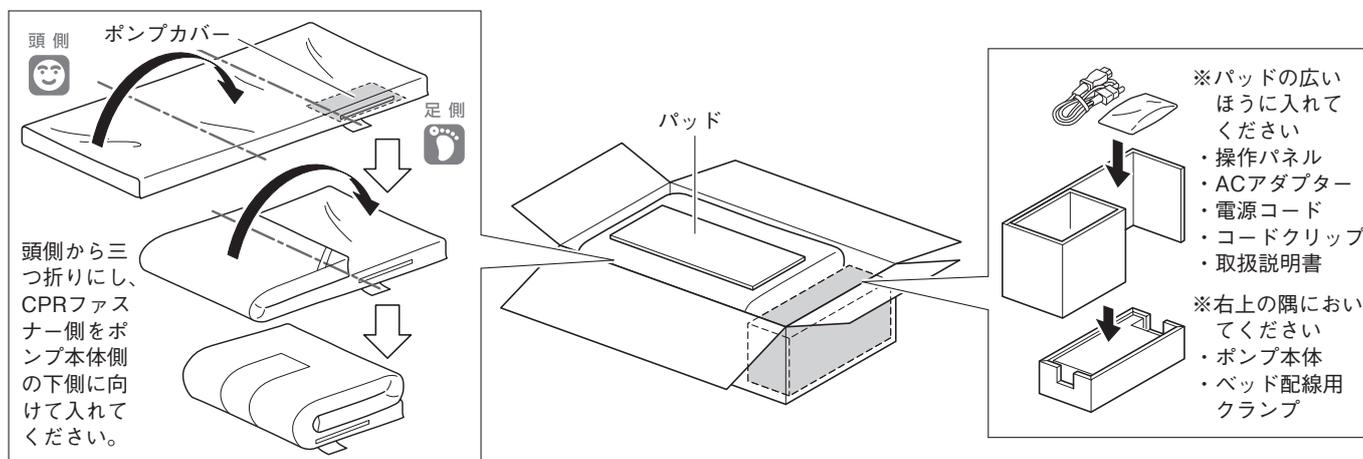
※重度エラー表示中は、操作音ボタンが点滅します。操作音ボタンを押すことで警告音を止めることができます。

7 長期保管・輸送・廃棄

1. 長期保管・輸送

■エアマットレスの梱包方法

- ① コンセントから電源プラグを抜いてください。
- ② ポンプ本体からACアダプター、操作パネル、センサーケーブルを抜き、ケーブル接続部のキャップを取付けてください。ACアダプターはポンプカバーから取出した後、電源コードを取外して（4ページ参照）付属のケーブルクランプで束ねてください。
- ③ マットレス本体からポンプ本体を取外してください。
- ④ ポンプ本体、操作パネル、コードクリップ、ACアダプター、電源コード、取扱説明書、ベッド配線用クランプを下図のようにお買い上げ時に入っていたパッドと段ボール箱に入れてください。
- ⑤ マットレス本体を下図のように折りたたんで、段ボール箱に入れてください。



■片付けアシスト機能

ポンプ本体でエアセル内の空気を吸引する機能です。

- ① マットレス本体とポンプ本体が接続された状態で操作パネルの[しっかり]ボタンを押しながら電源プラグをコンセントに差込んでください。操作パネルの状態表示画面に「PAC」と表示され、片付けアシスト機能が動作します。
- ② エアセル内の空気がすべて吸引されると「ピー」という音が鳴り、動作を停止します。（吸引時間：12分）



注意

- 保管温度・湿度の範囲内で保管してください。カビの発生や故障の原因となります。
- 重いものを載せないでください。破損・変形の原因となります。
- ポンプ本体をマットレス本体から取外して保管してください。破損・変形の原因となります。



- 高温・多湿・低温・乾燥・ほこりの多い場所・直射日光を避けてください。
※保管環境：温度-10~60℃ 湿度0~85% RH
※詰め物（エアセル・送風チューブなど）が変色するおそれがありますが、製品の機能に問題はありません。
※におい（ウレタン臭など）が気になる場合は、風通しのよい日陰にエアマットレスを1日放置したり、お手入れ（12ページ参照）することで、においは低減します。
- 取扱説明書を紛失しないよう、大切に保管してください。

7 長期保管・輸送・廃棄

2. 廃棄

- 各パーツを素材ごとに分けてください。
- 廃棄の際は、「廃棄物の処理および清掃に関する法律」および各自治体の規制に従ってください。

8 仕様

品名		エアマットレス こちあ利楽flowシリーズ								
		清拭タイプ				通気タイプ				
品番		KE-911S	KE-913S	KE-912S	KE-914S	KE-911T	KE-913T	KE-912T	KE-914T	
マットレス 本体	サイズ (cm) 幅×長さ×高さ	91×191×17	83×191×17	91×180×17	83×180×17	91×191×17	83×191×17	91×180×17	83×180×17	
	製品質量 (kg)	8.5	8.0	8.2	7.8	8.6	8.1	8.3	7.8	
	材質	トップカバー	ポリエステル70%・ポリウレタン30% (抗菌・難燃・防水・透湿)				ポリエステル100% (抗菌・難燃・防カビ・消臭)			
		グライドシート生地	ポリエステル100%							
		ウレタンフォーム	ポリウレタン (難燃)							
		ボトムカバー	ポリエステル90%・ポリウレタン10% (抗菌・難燃)				ポリエステル100% (抗菌・難燃・防カビ)			
		ポンプカバー	ポリエステル90%・ポリウレタン10% (抗菌・難燃・防水)							
		センサーカバー	ポリエステル70%・ポリウレタン30%							
		ボトムクッション	ポリウレタン (難燃)							
		チューブ	塩化ビニル100% (抗菌・難燃)							
エアセル		ポリウレタン100% (抗菌・難燃)								
ポンプ本体	カプリング	PC/PBT樹脂 (難燃)								
	センサーケース	PC/PBT樹脂 (難燃)								
センサーシート	センサーシート	PET樹脂								
	製品質量 (kg)	3.4								
ケース材質	ケース材質	ABS樹脂 (難燃・耐薬)								
	製品質量 (kg)	0.3								
ACアダプター	製品質量 (kg)	0.3								
	長さ (m)	4.5								
電源コード	製品質量 (kg)	0.4								
	使用環境条件	温度/湿度 0~40℃ / 30~85% RH								
保管環境条件	温度/湿度 -10~60℃ / 0~85% RH									
利用者体重 (kg)	20~180									
電源電圧 (V)	DC24									
消費電力 (W)	20									
耐用期間	5年[自己認証(当社データ)による] ※ただし、消耗部品は除く									

9 適合品

適合品は仕様変更などにより変わる場合があります。最新の情報やご不明な点は販売店または直接弊社までお問い合わせください。

■ベッド (延長フレーム・延長マットレス 78cm幅・100cm幅は除く)

アリウス、A6、KA-85000、KA-60000、メーティスPRO、メーティス、ウッディー、ドージェ、スタンダードベッド、KA-5000、アルデコラ、KA-4000、エスパシア、カリストエール、KA-7900、FeeZ、ベーシックベッド、KA-4351、KR、KR+、楽匠フィット、楽匠プラス、楽匠Z、楽匠FeeZ、レント、楽匠S、楽匠、KQ-5000、KQ-50000、KQ-60000、KQ-B6000、RA-B1モデル、RA-C1/C2モデル、INTIME1000、INTIME2000 (木製ボードをつけた場合のみ)

※小児ベッドは適合しません。

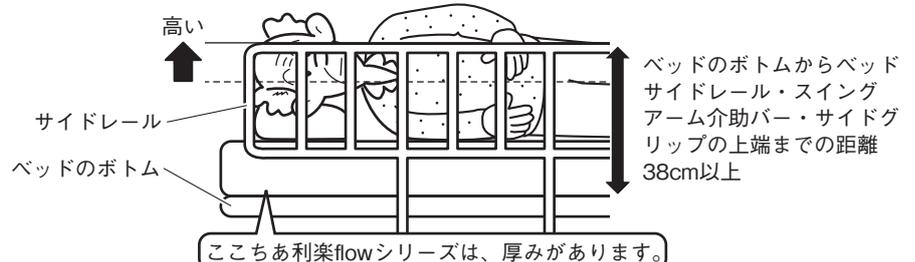


警告

楽匠フィットシリーズベッドにフットパネル (KQ-PC01C/02C) を取り付け付けたパノラマタイプのベッド (KQ-C***B/C/D/E) で使用するときには、マットレスストッパー (KQ-PC00D) を必ず使用してください。

- エアマットレスが落下して転落・転倒し、けがをするおそれがあります。
- マットレスストッパー (KQ-PC00D) の取扱説明書に従って正しくご使用ください。

■ベッドサイドレール・スイングアーム介助バー・サイドグリップ
取扱説明書および弊社のカタログもあわせてご確認のうえ、適合が認められている製品から選択し、右記の適合基準を満たす組合せでご使用ください。



10 アフターサービス

1. 保証書

保証書は、必ず「販売店・お買い上げ日」などの記入をお確かめになり、記載内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

販売店名・お買い上げ日の記入がない場合は、品番・販売店・お買い上げ日が確認できるように、製品をお買い上げの領収書などを保証書と一緒に保管してください。

2. 修理を依頼される時

取扱説明書の「**6** 故障かな？と思ったら」（15ページ参照）に従って調べてください。それでも直らないときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはここちあシリーズ製品専用の修理受付窓口であるここちあセンター（下記参照）までご連絡ください。

■連絡していただきたい内容

- 品名、品番、製品識別表示ラベルの番号（3ページ「**2** 各部の名称」参照）
- お買い上げ日 ●破損または異常の内容（できるだけ詳しく） ●施設名、お名前、ご住所および電話番号

■消耗部品について

操作パネル・フィルター・ベッド配線用クランプ・ケーブルクランプ・グライドシートのウレタンフォーム・ポンプ本体内部部品・コードクリップ・面ファスナーは消耗部品です。

■保証期間内は

保証書の記載内容に基づき無償で修理いたします。ただし、保証期間内でも修理が有償になる場合があります。詳しくは保証書をご覧ください。

■保証期間が過ぎているとき

修理により使用できる製品については、ご要望により有償で修理いたします。

3. 部品の最低保有年数は

弊社ではこの製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間を製造打ち切り後6年としております。

4. アフターサービスについてご不明な場合

お買い上げの販売店、またはここちあセンターまでお問い合わせください。

ここちあセンター ☎0120-02-5518

受付時間：9：00～17：20（年始休業を除く）

【ここちあセンターについて】

ここちあセンターは、パラテクノ株式会社のごちあシリーズ製品専用のお問い合わせ窓口です。パラテクノ株式会社は、弊社製品の修理や保守点検などの各種サービスを実施する会社です。

保証書

品名	エアマットレス ここちあ利楽flowシリーズ	保証期間	★お買い上げ日	年	月	日より1年間
お客様	お名前	★販売店 (店名・住所)	☎	()		
	〒 () ご住所					

★印欄の情報が確認できない場合は無効となりますので販売店から発行された★印欄の情報が確認できる領収書などを、本保証書と一緒に大切に保管してください。
この保証書は、本書の記載内容に基づき無償修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、ラベル類などの注意書きに従った正しい使用状態で故障した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
※本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

【保証規定】

- 保証期間内（お買い上げの日より1年間）に、正常なご使用状態において故障した場合は、無償で修理いたします。
- 次のような場合は、保証期間内でも修理は有償となります。
(1) 使用上の誤り、あるいは不当な改造や修理による故障および損傷
(2) 弊社が指定する適合品以外の製品と組合せて使用したことによる故障および損傷
(3) お買い上げ後の移動、設置、落下あるいは輸送による故障および損傷
(4) 火災、煙害、異常電圧および地震、雷、風水害、その他、天災地変などによる故障および損傷
(5) 保証書のご提示がない場合
(6) 本保証書の保証期間および販売店名が確認できない場合
(7) 字句を書き換えるなどの不正行為が発覚した場合
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
● This warranty is valid only in Japan.

<パラマウントベッド 株式会社>

本社 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 ☎(03)3648-1111(代)
東京支店 〒136-8670 東京都江東区東砂2丁目14番5号 ☎(03)3648-1171(代)
札幌支店 〒060-0062 札幌市中央区南2条西13丁目318番地11 ☎(011)271-1181(代)
仙台支店 〒984-0015 仙台市若林区卸町2丁目3番地の3 ☎(022)239-5211(代)
さいたま支店 〒336-0967 さいたま市緑区美園3丁目23番1 ☎(048)878-0100(代)
横浜支店 〒194-0004 東京都町田市鶴間5丁目3番33号 ☎(042)795-8800(代)

名古屋支店 〒461-0001 名古屋市東区泉1丁目20番17号 ☎(052)963-0600(代)
大阪支店 〒550-0001 大阪市西区土佐堀2丁目3番33号 ☎(06)6443-8791(代)
高松営業所 〒761-8031 高松市郷東町2-23番1 ☎(087)881-8900(代)
広島支店 〒733-0011 広島市西区横川町3丁目8番5号 ☎(082)293-1311(代)
福岡支店 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3丁目14番20号 ☎(092)461-1131(代)

2025-09

製版：株式会社ハル